## 三鷹西野保育園 大規模修繕工事

実施設計図書一式

100000 1 2.44 4 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	REMARK		TITLE	DATE   NO.
HUT ヒュッツ建築デザイン株式会社		-		2020. 10. 31
		一級建築士事務所登録 東京都知事 第62418号	TYPE OF DRAWING	SCALE
■181-0015東京都三鷹市大沢1-5-21 TEL/FAX0422(69)2760		管理建築士 田中英明 大臣登録 第199162号	THE OF BIOWING	JONEE
		E-722		

## 三鷹西野保育園 大規模修繕工事

## 《実施設計図書》

			図面り	スト	
	意	匠 図		電 気 設 備 図	空調・衛生設備図
A-01	図面リスト				
A-02	案内図				
A-03	特記仕様書				
A-04	建築改修工事特記仕様書(その1)				
A-05	建築改修工事特記仕様書(その2)				
A-06	建築改修工事特記仕様書(その3)				
A-07	外部仕上表				
A-08	配置図				
A-09	平面図1階				
A-10	平面図2階				
A-11	屋根伏図				
A-12	立面図(1)				
A-13	立面図(2)				

出UT ヒュッツ建築デザイン株式会社 REMARK		TITLE 三鷹西野保育園 大規模修繕工事	DATE 2020. 10. 31 NO.
一級建築士事務所 	一級建築士事務所登録 東京都知事 第62418号 管理建築士 田中英明 大臣登録 第199162号	TYPE OF DRAWING 図面リスト	SCALE





	REM <b>2020.09.09</b> /住居表示変更		TITLE 三鷹西野保育園 大規模修繕工事	DATE 2020. 10. 31 NO.
一級建築士事務所 		一級建築士事務所登録 東京都知事 第62418号 管理建築士 田中英明 大臣登録 第199162号	TYPE OF DRAWING 案内図	SCALE A-02

## 工事特記仕様書

<del></del>	円滑な進行が行われるように、調整しなければならない。			
- 9.別途工事への協力	別契約の関連工事については、監理者及び係員の指示により、当該工事関係者と協力し、工事全体の		必要な場合本工事内に含めるものとする。	
		4-17. オプション工事		
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	協議の上、必要に応じて設計変更が行われる。但し、この場合の請負金額の増減は無いものとする。		1 2. 1 年点検報告書 (オープン後360日~390日以内に実施。4	
 -8. 軽微な変更	現場の納まり取合いなどの関係で、設計図書によるところが困難又は不都合な場合は、監理者と			<u> </u>
	カット数は、係員の指示による。(おおむね官庁に準じる。)		10. 竣工図(A3二つ折製本) 4部 z	オープン後7日以内
	9. 竣工時 全ての写真はアルバムに整理し、引渡時に提出する。(3部)			オープン後7日以内
	<u>5. 床レベル 6. 配管配線 7. 天井下地</u> 8. 事故発生時		7)その他監理者の要求するもの(保証書等)	
	<del>3 ポールサイン基礎  </del> 4 . <del>±工事・コンクリート工事</del> ・建方時・屋根・外壁 <del>- 内装  </del>		6) <del>シックハウス関連(出荷証明・品質証明・納入写真)</del>	
- 7. 工 事 写 真	監理者及び係員の指示によるものとする。 1. 現状(外部5枚、内部5枚) <del>2. 床下地(割栗、配筋)</del>		5)工事写真(官庁に準じる)	
			4)竣工写真 <del>(建築写真家によるもの</del> 外部内部主要箇所 20枚程度)	
- 6. 建物配置・地盤	監理者及び係員と建築主打合せの上、決定する。		3) <del>諸官庁提出書類(1部原本、その他はコピー)</del>	
			2)手直・残工事リスト	
- 5. 工事打合記録	現場・机上等で行う打合せ及び説明等により、決定した事項は請負業者が記録し、監理者に提出する。		1)引渡リスト	
			8. 引渡書 4部	竣工時
			7. 工事チェックリスト	随時
			6. 打合記録	随 時
-3. 監 理 者	本工事仕様書でいう監理者とは、工事請負契約約款に規定する監理技師を示す。		3)着工前写真	
			2) 緊急連絡先一覧表	
- 2. 別 途 工 事	仕上表、概要 別途工事欄に示す。		1 )工程表	
			5. 工事着工届	着工15
	<del>· · 看板工事</del>		4. 工事請負契約書コピー(見積内訳明細書を含む)	同上
	<del>· 外構工事</del>		3. 施工図・製作図	同上
	<del>─・空気調和設備工事</del> ─		2. 設計図 製本4部(A3二つ折製本)	同上
	<del>─・給排水設備工事──</del>		l. <del>-官公庁提出書類コピー(消防使用開始届)</del>	着工時迄
	<del>─・電気設備工事───</del>		提出書類	提出時期
 1. 工 事 範 囲	・建築工事			
	JUMBON NO KAPPO O F X	4-16. 提 出 書 類	請負業者は、下記書類を <del>係員</del> 及び建築主に、提出する義務を負うものとする。	
	・現場説明 及び 質疑応答事項			
	・その他、法令、条例、関係申請図書			
	- ・確認中請書	4-15.引 渡 し		
	· 設計図		■任も <del>一杯文</del> 人の足未上に促出する。(→ ロク)	
	記載なき事項は、すべて「日本建築学会標準仕様書(最新版)」による。 ・特記仕様書	4-14. 攻 工 囚	監理者 <del>・孫員</del> 及び建築主に提出する。(4部)	/ ロダ門に表本の工
. 一 般 事 項	本工事は請負契約を遵守して、下記仕様に基づき工事を行うものとする。		請負業者は、竣工図(建築、 <del>電気、給排水衛生、空気調和設備図</del> )は、オープン後	
A0. = ==		4- 3.諸検査及び報告書	<del>- 係員及び</del> 監理者の指示による。 ※必ず打診すること。	
. 工 期	着工: 2020年12月10日予定 竣工:2021年3月31日予定		また、竣工検査日・引渡日・開園日も記載する。	
		4-12. 実施工程表	着工に先立ち、実施工程表を作成し、監理者及び係員の承認を受ける。	
2 面 積	818.56㎡(建築面積:588.58㎡、1階:543.97㎡、2階:274.59㎡)	4-11.施 工 図	原寸図及び施工図は、原則としてすべて作成し、監理者及び係員の承認を得た後工具	事に着手する。
1 工 事 場 所	東京都三鷹市深大寺三丁目3915-2他(住居表示:深大寺三丁目3-10)		消防署への消防設備士による工事事前届及び、竣工後の検査届出を行うこと。	
			-電気、給排水は竣工以降においても、本工事引渡しまで請負側負担とし、引渡時に	<del> 名義切り替えとする。</del>
工事名称	三鷹西野保育園 大規模修繕工事	4-10.工事に伴う諸手続	電気、給排水、その他官公庁の諸手続きは、請負業者の負担とする。	

HUT ヒュッツ建築デザイン株式会社	REMARK	-	TITLE 三鷹西野保育園 大規模修繕工事	DATE 2020. 10. 31	O. 03
一級建築士事務所 		一級建築士事務所登録 東京都知事 第62418号 管理建築十 田中英明 大臣登録 第199162号	TYPE OF DRAWING 特記仕様書	SCALE	A-03

						章	項目	特 記 事 項	1 1 技能士	[1. 6. 2]		立上り部の保護材 [3.3.2]
一座亚亚	女国 十相楷	收丝 一亩	r=n=1.00 A	f=0 <del>/=</del> 10 F 01 F		1	1 適用基準等	・建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 平成17年版)		適用工事種別 技能検定作業		・乾式保護材 ※押出成形セメント板(厚さ15mm)
二鷹四野保	育園 大規模	修繕 工事	設計凶 令	和2年10月31日	1	画		・工事写真の撮り方(改訂第2版)建築編(建設大臣官房官庁営繕部監修) ・建築物解体工事共通仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成18年版)		防水改修工事 ・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業		・れんが ※JIS R 1250によるもの ・市販品のれんが又は市販品のれんが形コンクリートブロック
仕 様 書						田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田				・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業		(見え隠れ部分)
1 丁東概画						義	2 工事実績情報の登録	   ※適用する [1.1.4]		・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業		・コンクリート
I 工事概要						1 '	2 工事关税情報の豆鉢	※照用する   [1.1.4]		・RP防水工事作業	4 改質アスファルト	[3.4.2,3] [表3.1.1] [表3.4.1~3]
1. 工事場所	東京都三鷹市深	大寺三丁目	3915-2他	(住居表示:深:	大寺三丁目3-10)	_	3 品質計画等	・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 [1.2.2]		・左官作業 ・内外装板金作業	シート防水	防水改修工法の種類 新規防水層の種別 厚さ (mm) 施工箇所
0 #646=##	1400 40-3					-		※風速 V₀= ( ) m/s (平12建告第1454号第2)		外壁改修工事 ・ 左官作業 ・ タイル張り作業 ・ 建築塗装作業		· M4AS工法 · AS-1 · AS-2 · AS-3
2. 敷地面積	1423. 42m <sup>a</sup>					-		※地表面粗度区分 ・I ・II ・II ・IV		建具改修工事 ・ビル用サッシエ事作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業		・M3AS工法
3. 工事種目	大規模修繕工事	(外壁改修:	エ事)			_				内装改修工事 ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業		・M3AS I 工法 ・AS I -1 ・AS I -2
	タケルル 1 + 日	PATL + CR+ ⇒L.	¬ <i>L let</i>	t 2. U.S. #	+++ ++ - 4	-	4 元左归中计作本	[1 2 2]		・ボード仕上げ工事作業・壁装作業・大工工事作業		・MAASI工法 ・POASI工法
	経年劣化した外	壁及び防水	以修、鉄部空影	<b>長、シーリンク</b>	打り省え寺	-	4 電気保安技術者	[1.3.3] 工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、		・銅製下地工事作業     ・左官作業     ・タイル張り作業       塗装改修工事     ・建築塗装作業		·POASI工法
						_		電気工作物の保安の業務を行うものとする。		耐震改修工事 ・鉄筋組立作業 ・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業		M3ASI、M4ASI及びPOASI工法の防湿層 ・設ける ・設けない [表3.4.3]
						_		・要・不要		・構造物鉄工作業・とび作業		M3AS、POAS、M3AS I、M4AS I 及びPOAS I の脱気装置 [3.4.3]
						-	5 施工条件	   下記以外は現場説明書による。		コンクリートブロッ ・コンクリートブロック工事作業 ク・ALCパネル工事 ・エーエルシーパネル工事作業		※設けない ・設ける
						-	0 NS=X11	・工事用車両の駐車場所 ※図示・		石工事・石張り作業	5 合成高分子系	[3.5.2,3] [表3.1.1] [表3.5.1]
						_		・資機材置場 ※図示 ・		植栽工事・造園工事作業	ルーフィング	防水改修工法の種類 新規防水層の種別 施工箇所 仕上げ塗料塗り 使用分類
						-		・建設発生土仮置場 ※図示・ ・ ※図示・	12 化学物質の濃度測定	[1. 6. 9]	シート防水	・POS工法     ・S-F1     ・S-F2     ・シルバー     ※非歩行       ・S4S工法     ・S-M1     ・S-M2     ・カラー
						-		A Mai 47	12 化子物黄砂层皮料定	施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ス		· S-M3
						_	6 発生材の処理等	・発注者に引渡しを要するもの (・金属類 · ) [1.3.8]		チレンの濃度を測定し、報告する。		・POSI工法 ・SI-F1 ・SI-F2
4. 工事内容	屋上屋根防水、 外壁下地補修工					-		・特別管理産業廃棄物     (・廃石綿 ・PCB含有物 ・ ) [1.3.8]       ・現場において再利用を図るもの ( ) [1.3.8]		測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定 ・行う		·S4SI工法 ·SI-M1 ·SI-M2
	外壁塗装工事	7				-		・再資源化を図るもの ( 1.3.8]		測定対象室 · 図示 ·		
	シーリング工事					_				測定箇所数 ・図示 ・		· S3S I 工法
						-		・PCB含有シーリング材の処理		報告の様式等については、現場説明書による。		· M4S工法 · S—M1 · S—M2
						-		・第一次判定:現場にてサンブルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。 採取箇所数 計( )箇所	13 完成時の提出図書	・完成図 [1.8.1~3] [表1.8.1]		· S−M3 · M4S I 工法 · S I −M1 · S I −M2
						_		採取箇所 ※図示・	124-14 AC pad that tall	・既存図面修正		- SI - M3
						_		・第二次判定:専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。		※作成する 塩甲亜糖 ※冬2種 ・ 華 (A2所第一原図及75電子競技 (CD_D) )		以在注學
						-		分析個数 計( )箇所 ・除去処理工事		提出部数 ※各2部 部 (A3版第二原図及び電子媒体 (CD-R) ) 種類 ※改修標仕表1.8.1による。ただし、種類は当該工事で該当する図面、表		脱気装置 ・設ける ・設けない [3.5.3]   目地処理 PCコンクリートの場合 ( ) [3.5.4]
						_		除去範囲 ※図示 ·		及び計画書とする。		, [0.0.4]
								(1 MA 4 65 + 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		※施工計画書 提出部数 ※1部 · 部	6 塗膜防水	[3.6.2,3] [表3.1.1] [表3.6.1]
5. 工事範囲 ※「3. 工事種目」す <sup>ヘ</sup>	ベアを工事範囲とす。	<u>,</u>					7 環境への配慮	化学物質を放散させる建築材料等 [1.4.1] 本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するも		※施工図 提出部数 ※1部・ 部・保全に関する資料 提出部数 ※2部・ 部		防水改修工法の種類         新規防水層の種別         施工箇所         仕上げ塗料塗り           ・POX工法         ※X-1 · X-2         ・シルバー
・「3. 工事種目」の 3			は下記表のとおり と	±する。ただし、÷	その他の工事種目はすべ			のとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。		水工飞网 7 0 更行 足田 II		・L4X工法 ・X-1 ※X-2 ・カラー
て今回工事範囲とする	5.							(1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティ	14 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。		
	工事種目							クルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上塗材及び壁紙は、ホルムア ルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。	15 設計GL	※図示 ・		脱気装置 ※設けない ・設ける [3.6.3]
	工学程口							(2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放	13 MAIGE	次国小 ·	7 脱気装置	[3.3.3] [3.4.3] [3.5.3] [3.6.3]
								散が極めて少ないものとする。 2	1 足場その他	内部足場 種別 ※きゃたつ、足場板等・ [2.2.1]		種類 材質 設置数量
	_	建築	電気設備	機械設備	防災設備			(3)接着剤はフタル酸ジーnーブチル及びフタル酸ジー2ーエチルヘキシルを含有しな	}	外部足場 種別 ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 [2.2.1] [表2.2.1]		・ポリエチレン樹脂     ・ABS樹脂     ( )m² 当たり1箇所       ・平場部脱気型
					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			い難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチ ルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。		防護シート   ※設置する ・設置しない   材料、撤去材等の運搬方法 ・A種   ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 [2.2.1] [表2.2.2]		・
工事項目								(4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させな		THE MAIN TO SELECT SECTION OF THE PARTY OF T		・立上り部脱気型 ・ステンレス鋼 ・鋼
2 仮設工事	1							いか、放散が極めて少ないものとする。	2 既存部分の養生	既存部分の養生 ※ビニルシート等・ [2.3.1]		
		0						(5) (1)、(3)及び(4)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その 他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものと		既存家具等の養生 ※ビニルシート等・ 固定家具等の移動 ※行わない・行う(図示)	8 シーリング	シーリング改修工法の種類
3 防水改修工事		0						する。				・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法
4 外壁改修工事								また、設計図書に定める「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。	3 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別 [2.3.2] [表2.3.1]		シーリング材の種類 ※下表以外は、改修標仕表3.7.1による [3.7.2] [表3.7.1]
コンクリート打放	故し仕上げ外壁							ホルムアルデヒド放散量         該当する材料           規制対象外         ① JIS及びJASのF☆☆☆規格品		種 別     下 地     仕上材(厚さ mm)     充填材     塗 装       ・A種     ※軽量鉄骨     ・合板(※9.0 ・ )     厚さ mm     ※なし		施工箇所 シーリング材の種類 (記号) 外壁塗装面目地、庇天端入隅 ポリウレタンNB
外壁改修工事								② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣		・ N種		サッシ建具廻り、ベンドキャップ廻り ポリウレタンNB
モルタル塗り仕」 外壁改修工事	上げ外壁							認定品		※C種 単管下地 防炎シート		サッシ水切り、ガラスブロック廻り 変成シリコンNB
タイル張り仕上げ	ガ外壁							③ 下記表示のあるJAS規格品		仮設扉 ※木製扉 ※合板張り程度・ ※なし		
外壁改修工事		0						a. 接着剤等不使用 b. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用		・鋼製扉     ※片面フラッシュ程度     ・あり		ブリッジエ法 ボンドブレーカー張り ・適用する [3.7.7] エッジング材張り ・適用する
塗り仕上げ外壁 5 建具改修工事				-				c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを	4 監督職員事務所	※設ける [2.4.1]		接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 (部位: ) [3.7.8]
0 建六碳酸工学								放散しない材料使用		○構内に新設する(規模及び仕上げの程度は現場説明書による)		10 0 03 F±0 0 43
6 内装改修工事								d. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを 放散しない塗料使用		・既存建物内の一部を使用する・・設けない	9 とい	といの材種 [3.8.2] [表3.8.1] ※配管用鋼管
7 塗装改修工事								e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを				・硬質塩化ビニル管 (・VP ・RF-VP ( )
/ 至表以除工学		0						放散しない塗料等使用	5 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ⊙利用できる (※有償 ⊙無償)		
8 耐震改修範囲以外	外の躯体改修工事							f. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ① JIS及びJASのF☆☆☆規格品	6 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ⊙利用できる(※有償 ⊙無償)		鋼管製といの防露巻き [3.8.2、3] [表3.8.4、5] ※行う(施工箇所 ※改修標仕表3.8.5による・・・)
耐震改修工事				-				② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣	1711-272	IN MAIN TABLE MAIN TE ST COMMENTE COMMENT		防露材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種
明成以珍土季								認定品   3	1 既存防水層の処理	既存保護層(平場)の撤去 ・行う(範囲 ・図示 ・ ) [3.2.3]		といの掃除口 ※あり(図示) ・なし
9 環境配慮改修工	\$						8 材料の品質等	[1.4.2]	}	既存防水層(平場)の撤去     ・行う(範囲・図示・・・・) [3.2.4]       立上り部の防水層撤去     [表3.1.1]		たてどい受金物の取付け [3.8.3] ※図示 ・標仕13.5.3 (d) (2) による
			+					本工事に使用する材料は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、JIS 👑		・行う(・POS(機械) ・POSI(機械) ・M4S ・M4SI		
								又はJASのマーク表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)~(6)の事項を満たす		・S4S (機械) ・S4S I (機械) )		ルーフドレン [3.8.3] [表3.8.1]
								ものとする。		露出防水層表面の仕上げ塗装除去 [3.2.6] ・行う (・M4AS ・M4AS I ・M4C ・M4D I ・L4X)		種別 施工箇所・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
			1		-			(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること		改修用ドレン		・パルコニー中継用
								(3) 安定的な供給が可能であること		・設ける (・POAS ・POAS I ・POD ・POD I ・POS ・POS I ・POX)		・パルコニー用
	<u> </u>		•			.		(4) 法令等で定める許可、認可、認定、免許等を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること	2 既存下地の補修	アスファルト補修の材料 ※JIS K 2207による3種 ・ [3. 2. 2]	10 アルミニウム製笠木	[3.9.2] [表3.9.1]
								(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	種類 最小呼称肉厚 (mm) 表面処理 固定間隔 備 考
Ⅱ 建築改修工事仕様								なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証				・250形 1.6 ※A-1又は ※固定方法及び コーナー部、突当り部等の
1. 共通仕様								明となる資料又は外部機関((社)公共建築協会等)が発行する「建築材料・設備機材等品 質性能評価事業」の評価書等の写しを、監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただ	3 アスファルト防水	[3.3.2,3] [表3.1.1] [表3.3.2~10] 防水改修工法の種類 新規防水層の種別 施工箇所		・300形     1.8     B-1種     間隔は図示による。     役物は本体製造所の仕様による。
	こ記載されていないる	項は、国土交	通省大臣官房官戶	<b>宁営繕部監修「公</b>	共建築改修工事標準仕様			し、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。		→ P1B工法 · B−1 ※B−2		·100形 ( )
					記載されていない事項は、			また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同		· P1BI工法 · T1BI工法 · BI -1 ※BI -2		•
国土交通省大臣官房官庁 う。)による。	丁宮籍部監修「公共列	E 染工事標準仕	· 禄晋(建築工事》	屬)(平成19年版)	」(以下「標仕」とい			等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。		ME		板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示・ [3.9.3]
20 / 1-000							9 特別な材料の工法	改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定す		→ M4C工法 · C-1 ※C-2		16. 9. 5]
2. 特記仕様	O							る工法とする。		於 · M3D工法 · POD工法 · D−1 ※D−2	1 1 折板葺	(13.3.2,3) (表13.2.1)
(1)項目は、番号に( (2)特記事項は、○							10 施工数量調査	調査範囲及び調査方法 ※図示 [1.5.2]		刊 ·PODI工法 ·M3DI工法 ·DI−1 ※DI−2		形式   形状 (mm)   材料 (規格等)   軒先面戸板   町熱材   耐火性能   ※重ね形   山高 ( ) ※塗装溶融55%アル ※あり ※あり ※30分
	場合は、※印の付い		する。				・ ジャン・ 外里 阿且	関連制度の制度方法 ※図示 [1.5.2] 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示 ・ [1.5.3]		屋内 · P1E工法 · P2E工法 · E-1 ※E-2		※里ね形   山尚 (
⊙印と ⊗ 印の付	いた場合は、ともに	適用する。								防水 (保護層は図示による)		・かん合形 ( ) めっき鋼板及び鋼帯 ( )
(3)特記事項に記載の (4)特記事項に記載の										アスファルトの種類 ※3種・4種 [3.2.2] [3.3.2]		板厚 (CGLCCR-20- 厚さ ※0.6 ・0.8 AZ150) ( ) mm
					、9。 形状」の該当項目を示す。					M3D、POD、POD I、M3D I 及びM4D I 工法の脱気装置   ※設ける ・設けない   [3. 2. 2]   [3. 3. 3]		%0.6 · 0.8   A2130)   ( ) mm
(6) ⑤印は「国等によ										断熱工法の断熱材 [3.3.2]		( ) 時間
										※押出法ポリスチレンフォーム3種bスキン層付き□ 厚さ (mm) ※25 ・ 厚さ (mm) ・		· tal
										FC (IIII)		
							•	·	•	·	1	·
	い 2中 4年 一	ш .	. ++ ^	عد   REM	ARK						TITLE 一應本	5.野保育周、大相模修繕工事 DATE NO.

4	1 施工数量調査	調査範囲 ※外壁改修範囲 ・図示の範囲 [1.5.2]	4-1 1 ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.4] 4-	3 1 既存タイル張りの	・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 4	-4 1	既存塗膜等の除去	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3] [表4.6.2~
●通		調査内容 (1) ひび割れの幅及び長さを壁面に表示し、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び	華 体:	注入工法の種類     ひび割れ幅 (mm)     注入口間隔 (mm)     注入量 (m (m / m))     備 考       ※自動式低圧エボキシ 0.2以上~1.0未満     ※200~300     ※130	撤去	撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ	型 .	及び下地処理	工法     処理範囲     下地面の補修       ※サンダー工法     ※既存仕上面全体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		<ul><li> 第汁の流出の有無を調査する。 </li><li> (2) モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分を表面に表示し、 </li></ul>	4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	樹脂注入工法 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面)	# F F		・高圧水洗工法 ※既存仕上面全体 ・ ・ ・ ・
曲出		欠損部の形状寸法等を調査する。 (3) コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。	景	注入工法 0.3以上~0.5未満 ※100~200 ※70 ・		※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.4] [4.5.5]	剣		※50MPa程度 ・
壁改		(4) 塗り仕上げについては、コンクリート又はモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示し、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。	<u> </u>	注入工法 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		注入工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mg /m) 備 考 ※自動式低圧エポキシ 0.2以上~1.0未満 ※200~300 ※130	<del>M</del> H		・塗膜はく離剤工法 ※既存仕上面全体・ 水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体
₹		調査報告書の部数 ※2部	20	※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形)		樹脂注入工法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	整份		
	2 改修材料	・既製調合モルタル	T Int	・ 検査 (コア抜取り) ※行わない [4.3.4]		注入工法 0.3以上~0.5未满 ※100~200 ※70	₹		塗膜はく離剤の種類
		保水率     単位容積質量     接着強さ (N/mm²)     長さ変化率     曲げ強さ       (%)     (kg/ 1)     標準時     温冷繰返し後     (%)     (N/mm²)	世 二	・行う(抜取り部の補修方法:		・機械式エボキシ樹脂     0.5以上~1.0未満     ※150~250     ※130・       注入工法     ・	2	下地調整	材料 ※下地調整塗材 [4.2.2] [4.6 ・ポリマーセメントモルタル
		70.0以上 1.80程度 0.60程度 0.40以上 0.20以下 4.0以上	· A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	- リカットシール材充填工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.5] 充填材料 品質・規格等 備 考		注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形)			・防水形仕上げ塗材主材を使用
		・パテ状エポキシ樹脂         切期硬化性         接着強さ(標準)         圧縮強さ         曲げ強さ         硬化収縮率	*	・シーリング材 ※1成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタルの充填 ポリウレタン系シーリング材 ※行わない ・行う		・ 検査 (コア抜取り) ※行わない [4.3.4]	3 1	仕上塗材仕上げ	仕上塗材の種類、仕上げの形状等     [4.1.4] [4.2.2] [表4.2.3       種類     呼び名     仕上げの形状等
		(N/mm²)         (N/mm²)         (N/mm²)         (%)           標準2.0以上         標準6.0以上         50.0以上         30.0以上         3.0以下		・可とう性エポキシ樹脂		・行う(抜取り部の補修方法: )			・薄付け仕上塗材     ・外装薄塗材Si       ・可とう形外装薄塗材Si
		(1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。				・リカットシール材充填工法 (既存タイル張り撤去面) [4.1.4] [4.2.2] [4.3.5] [4.5.6]			・外装薄塗材E ・砂壁状 ・着色骨材砂壁状
		<ul><li>(2) 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。</li><li>(3) 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後</li></ul>		・シール工法     [4.1.4] [4.2.2] [4.3.6]       ・パテ状エボキシ樹脂		充填材料         品質・規格等         備 考           ・シーリング材         ※1成分形又は2成分形         ポリマーセメントモルタルの充填			・可とう形外装薄塗材E ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波 ・防水形外装薄塗材E ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状
		6箇月間保存したのちであっても、上記の品質性能の各項目に適合していること。 (4) 試験方法は、JIS A 6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂) に準ずる。		・可とう性エポキシ樹脂		ポリウレタン系シーリング材 ※行わない ・行う			・外装薄塗材S         砂壁状           ・複層仕上塗材         ・複層塗材CE         ・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模
		・可とう性エポキシ樹脂	2 欠損部改修工法	※充填工法     [4.1.4] [4.2.2] [4.3.7]       ・エポキシ樹脂モルタル		・可とう性エポキシ樹脂			・複層塗材Si 耐候性 ※耐候形3種 ・ ・複層塗材E 上塗材
		押出し性   スランプ   加熱減量   引張強さ   伸び   引張接着性   (秒)   (mm)   (%)   (N/mh)   (%)   引張接着性		・ポリマーセメントモルタル	3 欠損部改修工法	・タイル部分張替え工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.5.7] ※ポリマーセメントモルタル			・複層塗材RE 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・可とう形複層塗材CE 樹脂 ※アクリル系 ・
		常温物性1.0以上 常温物性30.0以上 最大引張応力				・タイル部分張替え工法用接着剤(・変成シリコーン樹脂系 ・ウレタン樹脂系)			・複層塗材RS 外観 ※つやあり ・つやなし
		表示値 ±0.10 3.0以下 5.0以下 低温性 1.0以上 低温性 30.0以上 加熱劣化1.0以上 加熱劣化30.0以上 1.0 N/mm 以上 0.0以上 1.0 N/mm 以上 0.0 N/m				・タイル張替え工法 [4.1.4] [4.5.8]			・防水形複層塗材CE ・メタリック ・防水形複層塗材E 防水形の増塗材 ※行う
						伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地     [4.5.8] [表4.5.1]       位置 ※改修標仕表4.5.1による ・図示			・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS
		<ul><li>(2) 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。</li><li>(3) 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後</li></ul>	4-2 1 既存モルタル塗りの 撤去	・行う (※全面 ・図示の範囲)	4 浮き部改修工法	[4.1.4] [4.5.9~15] [表4.4.3,4]			・可とう形改修用仕上塗材 ・可とう形改修塗材E ・平たん状 ・可とう形改修塗材RE ・さざ波状
		6箇月間保存したのちであっても、上記の品質性能の各項目に適合していること。		・既存モルタル撤去工法 (範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)		プンカービンの本数 注入口の箇所数 充填量 (本/m²) (箇所/m²) 又は注入量			・可とう形改修塗材CE ・ゆず肌状
		<ul><li>・タイル部分張替え工法用接着剤 適用範囲 張替え面積が比較的小さく、下地モルタルが健全な場所に用いる。</li></ul>	サー	※横鵬注入工法 (※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面) [4.1.4] [4.4.2] [4.4.5]		(モルタルを撤去しない場合)     一般部 指定部 一般部 指定部 (徳所/mg)       ・アンカーピンニング     ※16 ※25			防火材料の指定 ※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする。
		樹脂の種類 変成シリコーン樹脂系、ウレタン樹脂系	州 州	注入工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (m 🕻 /m) 備 考		部分エポキシ樹脂注入工法 ・ ・ ・ ・ ・			A建門の主、人力のは上切ら助人で行こう v。
		接着強さ 標準 低温硬化 アルカリ温水 凍結融解 熱劣化 強度 (N/mm <sup>+</sup> ) 0.60以上 0.40以上 0.40以上 0.40以上 0.40以上 0.40以上	11.00	※自動式低圧エボキシ     0.2以上~1.0未満     ※200~300     ※130       樹脂注入工法     ・		・アンカーピンニング     ※13     ※20     ※12     ※25       全面エボキシ樹脂注入工法     ・     ・     ・     ・			
		凝集破壊率(%)     75以上     50以上     50以上     50以上       皮膜物性     標準     高温     低温     アルカリ温水     熱劣化	<del>順</del>	・手動式エボキシ樹脂     0.2以上~0.3未満     ※50~100     ※40・       注入工法     0.3以上~0.5未満     ※100~200     ※70・		・アンカーピンニング     ※13     ※20     ※12     ※20     ※50       全面ポリマーセメントスラリー     ・     ・     ・     ・			
		引張強さ (N/mm²) 0.60以上 0.60以上 0.60以上 0.40以上 0.40以上 ゆび (%) 35以上 35以上 35以上 25以上 25以上	(2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	・機械式エポキシ樹脂 注入工法 0.5以上~1.0未満 ※150~250 ※130・		注入工法     ※16       ・注入口付アンカーピンニング     ※9       ※16     ※25			
		貯蔵安定性 質量の変化が5%以内で、かつ、均質で異物が認められないこと。 (一液形のみ)		注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形)		部分ェポキシ樹脂注入工法     ・     ・     ・       ・注入口付アンカーピンニング     ※9     ※16     ※9     ※16     ※25			
		混練終結確認容易性 (二液形のみ)		・ 検査 (コア抜取り) ※行わない [4.3.4]		全面エポキシ樹脂注入工法 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
		耐熱性 JIS A 5557の試験において、80°Cで4週間1kgの重りで安定してい		・行う(抜取り部の補修方法: )		全面ポリマーセメントスラリー ・ ・ ・ ・ ・			
		ること。 ずれ抵抗性 ずれが生じないこと。		・リカットシール材充填工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.4.6]		注入工法     ・注入口付アンカーピンニング     ※9     ※16     ※9     ※16     ※50			
		(1) 外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。 (2) タイル、下地材等を侵すものでないこと。		充填材料         品質・規格等         備 考           ・シーリング材         ※1成分形又は2成分形         ボリマーセメントモルタルの充填		エボキシ樹脂注入タイル固定工法     ・     ・     ・     ・       アンカーピン     [4.2.2]			
		(3) 「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」に規定された第一種特定化学物質及 び第二種特定化学物質、並びに「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」		ポリウレタン系シーリング材 ※行わない ・行う		材質 ※ステンレス銅(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ねじ切り加工したもの ・			
		に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 (4) 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6箇月間保存しても上記の品		・可とう性エポキシ樹脂		注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス銅 (SUS304) 、呼び径外径6mm			
		質性能に適合していること。		・シール工法 (※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面) [4.1.4] [4.2.2] [4.4.7] ・パテ状エボキシ樹脂					
		・エポキシ樹脂モルタル		・可とう性エポキシ樹脂	5 タイル張り	タイルの種類 [4.2.2] [4.5.7,8]			
		接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )		・既存塗り仕上材の撤去及び補修 [4.4.2] [4.6.3]		施工箇所   形状寸法   うわぐすり   吸水率   耐凍害性   役物   色   再生材の   備考			
		<ul><li>(1) こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上りが良好であること。</li><li>(2) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</li></ul>		(※シール工法の範囲・)					
		(3) 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を 使用しないこと。	3 欠損部改修工法	既存モルタル面の欠損部     [4.1.4] [4.4.8,9]       改修工法の種類     材料     品質・規格等					
		(4) 形状に異常がなく、だれが生じないこと。 (5) 常温常湿 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造後6箇月間保存しても上記の品		・充填工法 ポリマーセメントモルタル					
		質性能に適合していること。		・モルタル塗替え工法 改修標仕4.2.2 (g) による 塗厚25mmを超える場合の補強 既製目地材 ※行う ・行わない ・図示					
		・ポリマーセメントモルタル		・適用する (形状 ※図示 ・ )		標準的な曲がり(小口、標準、二丁、びょうぶ)の役物は一体成形とする。			
		種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等 曲げ強さ 圧縮強さ 接着強さ (N/mm²)				タイルの見本焼き ※行わない ・行う			
		(N/mm²)         (N/mm²)         標準時         湿潤時         低温時           6.0以上         20.0以上         1.0以上         0.8以上         0.5以上	4 浮き部改修工法	[4.1.4] [4.4.10~15] [表4.4.3、4]		壁タイル張りの工法     [4.5.7,8] [表4.5.3]       外装タイル     ※密着張り     ・改良積上げ張り     ・改良圧着張り			
		(1) 表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。 (2) 透水性 裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。		(モルタルを撤去しない場合)     (本/m²)     (箇所/m²)     又は注入量       一般部     指定部     一般部     指定部     (箇所/m²)		外装ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.2.2]			
		(3) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 (4) ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後		・アンカーピンニング ※16 ※25 ※25 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ ・ ・	6 目地改修工法	・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.5.16]			
		6箇月間保存しても変質しないこと。		・アンカーピンニング ※13 ※20 ※12 ※20 ※25 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ ・ ・ ・		既製調合モルタル ・使用する ・伸縮調整目地改修工法 [4.1.4] [4.5.16]			
		・ポリマーセメントスラリー		・アンカーピンニング ※13 ※20 ※12 ※20 ※50		シーリング用材料 [3.7.2] [表3.7.1]			
		広がり速度 長さ変化率 引張接着性 曲げ性能 吸水性 耐久性 (収縮) (材齢28日) (材齢28日) (72時間) (次化曲げ強さ)		注入工法		種類 ※改修標仕表3.7.1による			
		(%)         (N/mh)         (N/mh)         (%)         (N/mh)           3以上         3以下         0.5以上         5.0以上         15%以下         5.0以上		・注入口付アンカーピンニング       ※9       ※16       ※25         部分エポキシ樹脂注入工法       ・       ・       ・					
		保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00		・注入口付アンカーピンニング     ※9     ※16     ※25       全面エポキシ樹脂注入工法     ・     ・     ・     ・					
		・吸水調整材		・注入口付アンカーピンニング     ※9     ※16     ※9     ※16     ※50       全面ポリマーセメントスラリー     ・     ・     ・     ・     ・					
		全国形分 (%6)		注入工法 アンカーピン [4.2.2]					
		数小胆工・0以内 30万間では下 0.36以上 30以下 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。		材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 、呼び径4mmの丸棒で全ねじ切り加工したもの					
				・ 注入口付アンカービン [4.2.2]					
				材質					
		: -					ITI C		DATE NO
LUN 1157		y 建筑デザイン株式合社 REMARK					ITLE	— r在 开 B	R保育園 大規模修繕工事 DATE NO.

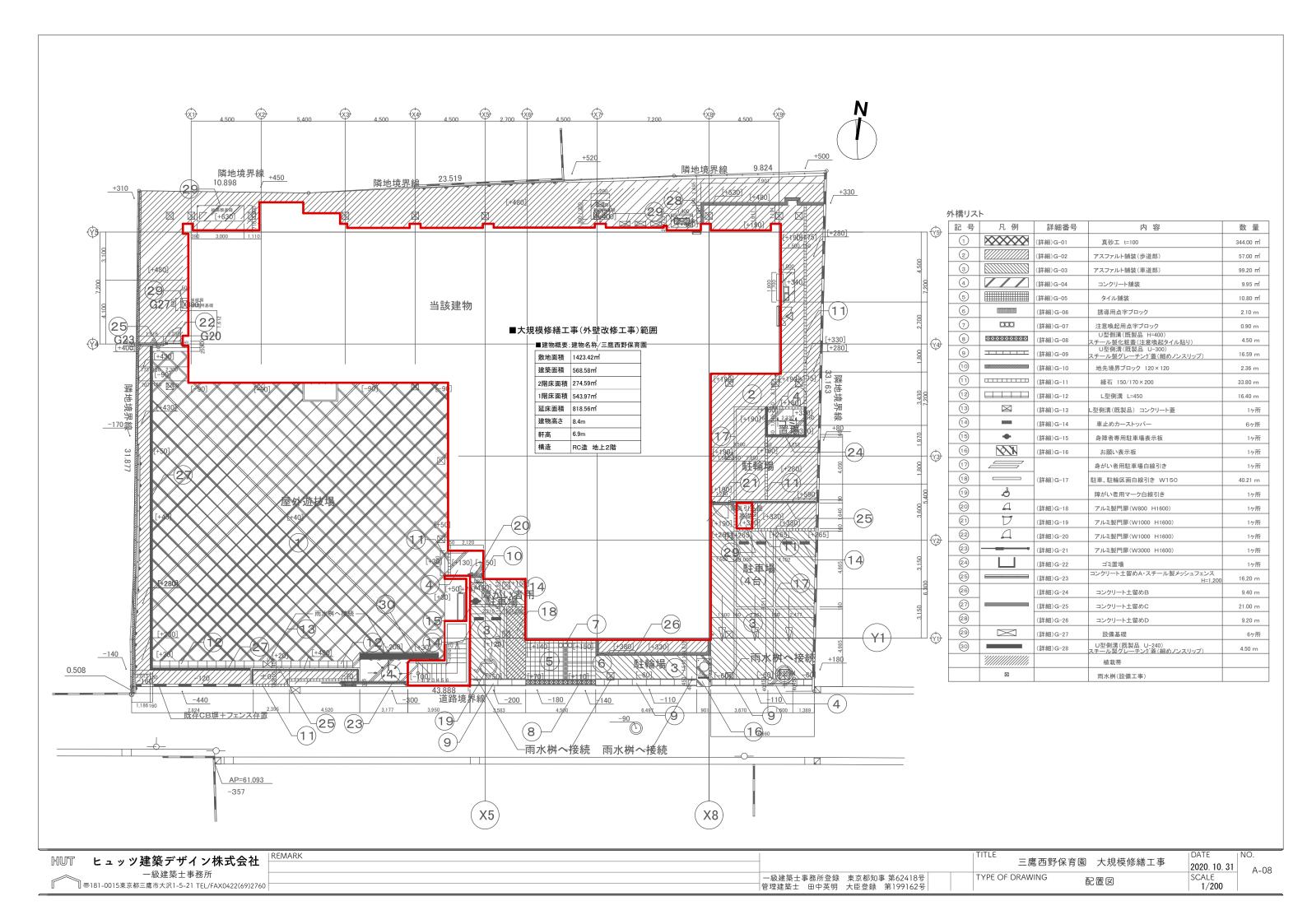
凬⋓』 ヒュッツ建築ナサイン休式会任 ├	REMARK		TITLE   三鷹西野保育園 大規模修繕工事	DATE 2020. 10. 31	NO.
一級建築士事務所 ■181-0015東京都三鷹市大沢1-5-21 TEL/FAX0422(69)2760		一級建築士事務所登録 東京都知事 第62418号 管理建築士 田中英明 大臣登録 第199162号	TYPE OF DRAWING 建築改修工事特記仕様書(その2)	SCALE	A-05

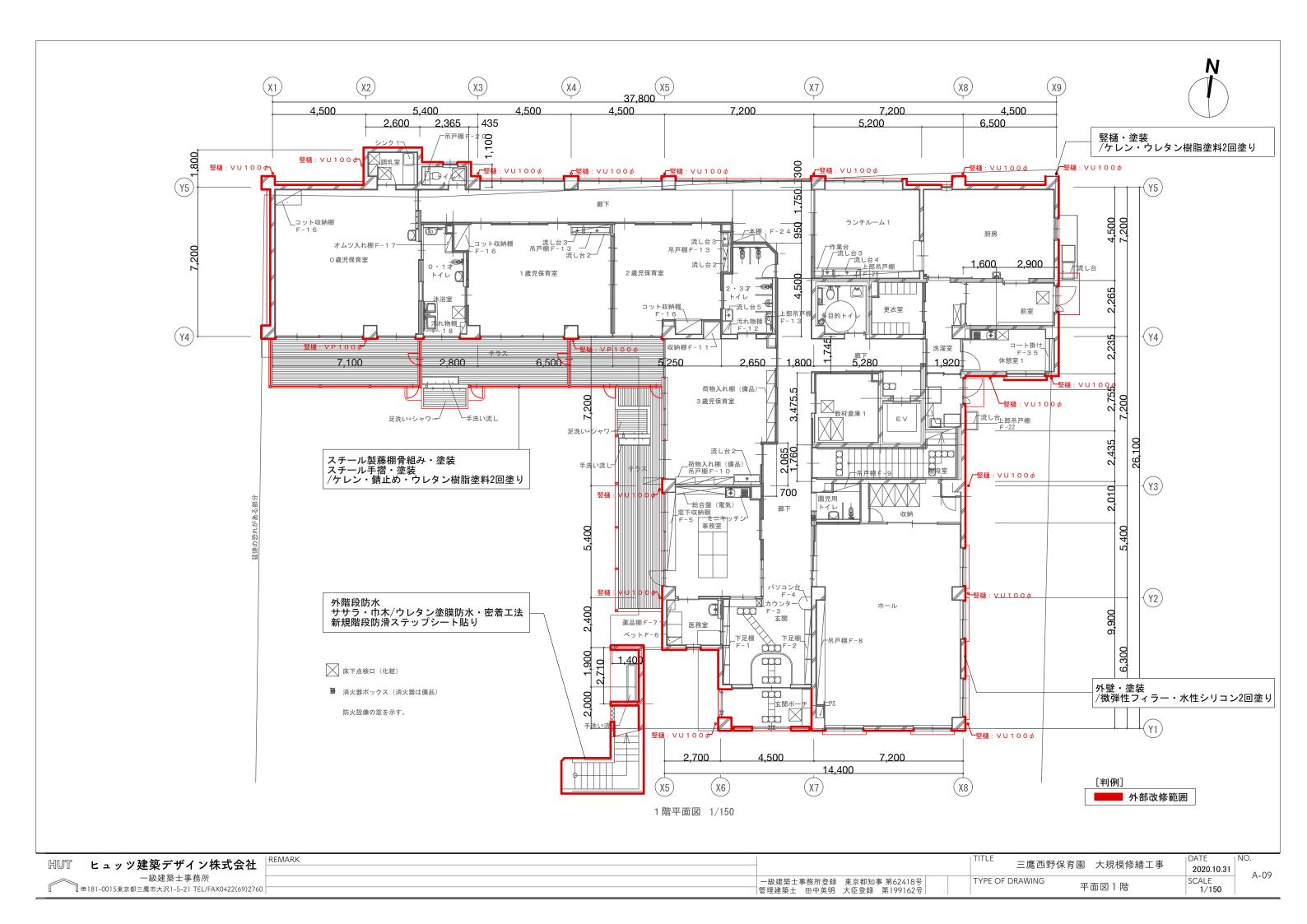
7 1 材料	建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 [7.1.3] 8	1 適用範囲	工事内容 ・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 [8.1] 8-3	1 あと施工アンカー	材料等 [8.24]	6 高い強度のコンクリ	設計基準強度 [8.91]	
H H	※規制対象外 第三種 建物内部に使用する塗料の材質 水性系		・鉄骨ブレースの設置工事     ・柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)     ・		・金属系アンカー セット方式 ※本体打込み式		設計基準強度Fc (N/min ) 適用箇所	
投	防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 [7.1.3] 禁 ・次の箇所を除き防火材料とする。 (施工箇所: )	{	・柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き工法)         ・柱補強工事(連続機維補強工法)		引張耐力 ※図示 せん断耐力 ※図示		混和材料 [8.9.3]	
州 2 下地調整	研究   研究   研究   研究   研究   研究   研究   研究		・耐震スリット新設工事 ・免震改修工事 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		接合筋の種類、径、長さ ※図示 性能確認試験 ・実施する(試験方法及び試験数 ※図示 ・実施しない		※混和剤 ※高性能ル減水剤標準形又は遅延形	
			・制振改修工事		・接着系アンカー	7 断熱材兼用型枠	/	
	下地調整の種別等 [7.2.2~7] [表7.2.1~7]		工事種別 ・施工調査 (施工計画調査、施工数量調査、調査のための破壊部分の補修)		アンカーの種類 ※カブセル型 引張耐力 ※図示	/ 断款付兼用至件	種 類 施工箇所 厚さ (mm) 品質等	
	下地面の種類         下地調整の種別         ひび割れ部           塗替え         新規		・撤去工事(設備機器配管及び仕上げの取壊し・撤去(下地の一部又はすべてを 含む)、構造体のはつり)		せん断耐力 ※図示 接着剤の品質 ※有機系・無機系		・断熱材兼用型枠・木質系 ※壁 (図示の範囲) ※40以下 断熱抵抗 =厚さ/熱伝導率	
	木部         ※RB種         · RA種         · RB種           鉄鋼面         ※RB種         · RA種		・鉄筋工事 ・あと施工ダンカー工事		アンカー筋の種類 ※改修標仕表8.2.10/異形棒鋼 ・全ねじボルト 性能確認試験 ・実施する(試験方法及び試験数 ※図示) ・実施しない		・プラスチック系 =0.676以上 (m'・K/W)	
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具を除く) ※RB種 · RA種		・コングリート工事	0 9071 #5 0 11011 7. 27 95			製造所建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の	
	亜鉛めっき銅面 (銅製建具)     ※RB種・ RC種       モルタル面、プラスター面     ※RB種・ RB種・ rB種・ rFう		<ul><li>鉄骨工事</li><li>グラウトエ事</li></ul>	2 穿孔前の埋込み配管 等の探査	探査範囲		開発」において、評価を取得したもの	
	コンクリート面、ALCパネル面 ※RB種・ ・RB種 ・行う (2-UE, 2-ASE, 2-FUEは除く)		・連続繊維補強工事・スリット新設工事		・図示 探査方法 [8.11.2]	8 コンクリートの 打込み工法等	部位ごとのコンクリート打込み工法の指定     [8.19.8] [8.21.5]       補強工法     打込み工法	
	コンクリート面、押出成形セメント板面 ・ ・ ・RA種 ・RB種 ・行う (2-UE、2-ASE、2-FUEの場合)		・免靈改修工事 ・制振改修工事		※鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつり出しによる		現場打ち鉄筋     ※工法指定なし     ・すべての増設壁 ・図示・       コンクリート     ・流し込み工法[8. 19. 8(a) (1) 及び(b)]     ・すべての増設壁 ・図示・	
	せっこうボード面、その他ボード面 ※RB種 · · · · · RA種 · · · · · RB種		・その他工事				壁の増設工事 ・圧入工法[8.19.8(a)(2)及び(c)] ・すべての増設壁 ・図示 ・	
3 錆止め塗料塗り	鋳止め塗料塗りの種別等 [7.3.2.3] [表7.3.1~4]			3 施工確認試験	試験の適用 [8.11.5]		・図示・           鉄筋コンクリ         ※工法指定なし         ・すべての増設柱 ・図示・	
	塗装面         塗料種別         工程種別         備 考           鉄鋼面         屋外         ※A種 ・B種 ※C種 ・	1			※実施する(試験方法 ※引張試験 ・ ) 確認強度 ※図示 ・		一ト柱の溶接     ・流し込み工法[8.19.8 (a) (1) 及び(b)]     ・すべての増設柱     ・図示       金網巻を及び     ・圧入工法[8.19.8 (a) (2) 及び(c)]     ・すべての増設柱     ・図示	
	屋内     ・A種 ※B種 ※C種・     8-       C種 ※C種・     EP-Gの場合	1 1 既存部分の撤去等	撤去範囲		・実施しない		溶接閉鎖フー・   ・図示・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・	
	亜鉛めっき銅面 塗替え ※A種 ・B種 ※C種 ・		既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断 [8.19.2] [8.20.2] [8.21.2] [8.22.2] [8.23.3]	4 シアコネクタ	種類 ※金属拡張系あと施工アンカーの異形差筋アンカー [8.2.4] [8.3.7]			
	C種         ※C種・         EP-Gの場合           新規(鋼製建具         ※A種・B種         ・A種・B種		※図示   はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置   [8.19.2] [8.20.2] [8.21.2] [8.22.2] [8.23.3]	(現場打ちコンクリート 壁の打増し部に用いる			鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法での型枠等 [8.21.5] 柱頭柱脚の隙間部間の型枠	
	を除く)         C種         ・A種         ・B種         EP-Gの場合           新規銅製建具         ※A種         ・B種         2-UE、2-ASE、		※露出部分は、錆止め塗料塗りを行う・	シアゴネクタ)	既存壁への有効埋込み長さ(mm)         ※7d (d:シアコネクタの径)           増打ち壁への有効定着長さ(mm)         ・		※発泡プラスチック保温材等を埋め込む ・	
	2-FUEは除く	2 既存部分の処理	既存コンクリート面の目荒し [8.19.3] [8.20.3] [8.21.3] 適用範囲	5 型枠工事	間隔 (mm) ※500×500 [8.7.9]		柱頭柱脚の隙間寸法 ※図示・ 既存柱外周部あと打ちコンクリート又はモルタルの厚さ ※図示	
4 塗装	[7. 4. 1~7. 16. 2] [表7. 4. 1~7. 16. 1]		※既存コンクリートとの打継ぎ面	0 =11=4	シアコネクタとセパレーターの兼用 ※兼用してもよい ・兼用しない		WILLTANDINGCII 212777 TXIS CIV ZIVOZIG WALL	
	塗装の種類     塗装面       塗替え     新規		※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面 ・ 8-4	1 コンクリートの種類	レディーミクストコンクリートの類別 ※I類 · II類 [8.1.3/	1		
	・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)     木部 鉄鋼面     ※B種・・・A種・B種		目荒しの範囲   一	及び強度	普通コンクリートの設計基準強度 [8/1.3] 8-6	1 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 [8.1.5]	
	塗料の種類 ※1種 ・		壁 打継ぎ面又は接合面全面の10~15%程度		設計基準強度Fc(N/mm) 適用箇所		※建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた (株)日本鉄骨評価センター又は(社)全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に	
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具) ※A種 ・ ※B種	/	目荒しの程度		**************************************		定める ( ) グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力の	
	・クリヤラッカー塗り(CL)     木部     ・A種 ※B種 ・ A種 ※B種 ・ B種		※平均深さ2~5mm (最大7mm) 程度の凹面を、全体にわたってつける。       ・		軽量コンクリートの設計基準強度等 [8.1.3] [8.10.1] [表8.10.1] [8.10.3]		ある工場 - 監督職員の承諾する工場	
	屋内鉄銅面     ※B種・・A種・B種・B種・B種・B種・B種・B種・B種・B種・B種・B種・B種・B種・B種				設計基準強度Fc (N/min ) 気乾単位容積質量 (t/mi ) 種 別	2 入熱、パス間温度の	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件	
	<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td>2 1 鉄筋</td><td>鉄筋の種類 [8.2.1] [表8.2.1/</td><td></td><td>· · · 1種 · 2種</td><td>溶接条件</td><td>※鉄骨溶接基準図による 適用箇所 ※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部</td></td>	<td>2 1 鉄筋</td> <td>鉄筋の種類 [8.2.1] [表8.2.1/</td> <td></td> <td>· · · 1種 · 2種</td> <td>溶接条件</td> <td>※鉄骨溶接基準図による 適用箇所 ※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部</td>	2 1 鉄筋	鉄筋の種類 [8.2.1] [表8.2.1/		· · · 1種 · 2種	溶接条件	※鉄骨溶接基準図による 適用箇所 ※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部
	・アクリル樹脂エナメル塗り 屋外コンクリート面 ※B種 · ・A種 ・B種		- 50000	種類の記号 呼び名 (mm)		/ 24.0		· 図示 ( )
	(AE)     屋内モルタル面     ※B種・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		· SD295A     ※D16以下       · SD345     ※D19以下	2 ヨンクリートの品質	スランプ     [8.1.4]       スランプ (cm)     適用箇所	3 施工管理技術者	※適用する ・適用しない [8.1.5] [8.14.2]	
	塗り (2-UE)     屋外亜鉛めっき銅面     ・ A種       屋外コンクリート面     ・A種 ・B種 ・A種 ・B種	`	<u> </u>		*18	4 鋼材	鋼材の材質等 [8.2.4] [8.2.7] [表8.2.5]	
	屋外押出成形セメント板面         ・A種 ・B種 ・B種           ・アクリルシリコン樹脂エナメル         屋外鉄鋼面         ※B種 ・ A種	2 溶接金網	網目の形状、寸法等     [8.2.2]       網目の形状、寸法(縦×横) (mm) 鉄線の径又は呼び名 (mm) 規格		コンクリートの仕上り		種類の記号 適用箇所 規格等 ※ MISによる・	
	塗り (2-ASE) 屋外亜鉛めっき鋼面 ※B種 · A種		※100×100 ※6.0 JIS Ø 3551による		部材の位置及び断面寸法の許容差 [8.1.4] [表8.1.2]		×JISICよる ·	
	屋外コンクリート面     ※B種 ・A種 ※B種 ・A種 ※B種 ・A種		-		※改修標仕表8.1.2による ・ (適用箇所: )			
	・常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル     屋外鉄鋼面       塗り (2-FUE)     屋外亜鉛めっき鋼面       ・ A種	3 鉄筋の継手及び定着	継手方法等     [8.3.4] [8.4.2,3]       部位     継手方法       呼び名 (mm)		合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ	5 高力ボルト	ポルトの区分 [8. 2. 8]	
	屋外コンクリート面         ・A種 ・B種 ・ B種 ・ B種 ・ B種 ・ B種 ・ B種 ・ B種 ・		柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ・機械式継手 その他の鉄筋 ( ) ※重ね継手 ・		・A種 ・B種		※トルシア形高カボルト ・JIS形高カボルト	
	・つや有合成樹脂エマルション 屋内木部 ※B種・ ※A種・		鉄筋の重ね継手の長さ [8.3.4]		· C種		ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.1.6] (別2-1.1~1.3) ※ (別2-1.1~1.3) による・	
	屋内亜鉛めっき銅面 ※B種 ・ ・A種 ・B種		※鉄筋の重ね継手の長さは、建築基準法施行令第73条による。(図示)		仕上りの平たんさ [8.1.4] [表8.1.4]		すべり係数試験 (8.13.2)	
	コンクリート面       ※8種 ・ ・ ・ B種         モルタル面・プラスター面       ※8種 ・ ・ ・ A種 ・ B種		'		※改修標仕表8.1.4による ・ (適用箇所: )		※行わない ・行う (試験方法等: )	
	せっこうボード面 ※B種 ・ ・A種 ・B種 - その他ボード面		鉄筋の定着長さ [8.3.4] ※鉄筋の定着長さは、建築基準法施行令第73条による。 (図示)	3 コンクリートの材料	セメント [8.2.5] [表8.2.3]	6 溶融亜鉛めっき 高力ボルト	ポルトの緑端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.2.8] [8.1.6] (別2-1.1~1.3) ※ (別2-1.1~1.3) による	
	・合成樹脂エマルションペイント     コンクリート面     ※B種     ・ A種     ・B種       塗り (EP)     モルタル面・プラスター面     ※B種     ・ A種     ・ B種				セメントの種類 種類 適用箇所		摩擦面の処理 (7.12.4) ※ブラスト処理 (表面粗度50/μ mRz以上)	
	せっこうボード面 ※B種 · ・A種 ・B種		帯筋組立の形の種別 [8.3.4] [図8.3.4]		※普通ポルトランドセメント		・りん酸塩処理	
	その他ボード面       ・合成樹脂エマルション模様塗料       屋内のコンクリート       下地		·W-I形 ·W-I形 ·W-血形				すべり耐力等の確認方法 ※すべり耐力試験方法等 ・図示	
	塗り (EP-T)	4 鉄筋のかぶり厚さ	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは目地底から算定する。 [8.3.5] [表8.3.6] ・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。		・フライアッシュ・セメントB種[9] 普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210に示された規定のほか、水和熱が7日目で	7 普通ボルト	ポルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3) [8.1.6] (別2-1.1~1.3) ※ (別2-1.1~1.3) による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	こうポード面等     RB種     A種     ・A種     ・B種       RC種     C-3種     ・A種     ・B種		施工箇所 改修標仕表8.3.6の値に加える寸法 (mm)		325J/g以下、かつ、28日目で402J/g以下のものとする。ただし、無筋コンクリートに 用いる場合を除く。	8 アンカーボルト	アンカーボルトの保持及び埋込み工法の種別 (7.10.3) (表7.10.1)	
	・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) 木部     ・A種 ※B種 ・A種 ※B種       ・オイルステイン塗り (OS) 木部				骨材 [8.2.5]		・構造用 (※図示 ・ ) ・建方用 (・A種 ※B種 ・C種 )	
	・マスチック塗材塗り コンクリート面 ・ ・	5 壁の配筋	壁配筋の重ね継手の長さ [8.3.7]		細骨材及び混合細骨材			
	A種及びC種の凸面処理     押出成形セメント板面     ・       ・行う ・行わない     モルタル面		※壁配筋の重ね継手の長さは、建築基準法施行令第73条による。(図示) ・		・ カェロニッケルスラグ細骨材 「回 使用部位 ( )		柱底均したルタルの工法の種別     (7.10.3) (表7.10.2)       ※A種 ・B種	
	ALCパネル面 ・ ・		壁配筋の定着長さ ※図示 [8.3.7]		/・電気炉酸化スラグ細骨材 使用部位 ( ) /砂利及び砂のアルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B	9 鉄骨工作仮組	・	
		6 壁開口部の補強	耐震壁の開口部補強 ※図示・ [8.3.8] [表8.3.8] [図8.3.7]		砕石及び砕砂のアルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B	10 溶接接合		
		7 ガス圧接	 圧接部の確認試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験 [8.3.9]	/	混和材料 [8.2.5] [8.5.8]	10 溶接接台	開先の形状   ※鉄骨溶接基準図による ・ [8.14.4] (別2-3.1~3.4)   鋼製エンドタブの切除する部分   ※図示 [8.14.7]	
		8 既存構造体との取合り		/	種類 ※混和剤 ・混和材 混和材料の使用量 ※改修標仕8.5.8(a)、(b)、(c)による	/	スカラップの形状   ※鉄骨溶接基準図による • [8.14.7]	
		/	種類 材料 材質 径 本数ピッチ等 適用箇所 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	/	· .	/	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験     ※行う・行わない     [8.14.11]       放射線透過試験     ※行わない・行う     [8.14.11]	
		/	ート用棒鋼 · · · φ9 ( ) · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4 コンクリートの調合 強度	コンクリート強度の気温による補正値 [8.5.5] 室内の工事における温度補正 ・行う ・行わない	/	マクロ試験(エンドタブ使用) ※行わない ・行う [8.14.11]	
			( )			11 29 %	呼び名等	
			・はしご筋     ※鉄筋コンクリート用棒鋼・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 無筋コンクリート	設計基準強度等 (6.14.1~3)   種類   設計基準強度 スランプ   租骨材の最大寸法   適用箇所	(頭桁きスタッド VIS B 1198)	呼び名         呼び長さ (mm)         適用箇所           ・16	
		/	(異形鉄筋) 壁面外方向筋 ( )	/	(N/mh)     (cm)     (mm)       ※普通コンクリート     ※18     ※15又は18     ※25	/	· 19 · 22	
		1/	· · · · ·	/	・軽量コンクリート ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 20	1 2 錆止め塗装	耐火被覆材の接着する面の塗装 [8.16.3]	
		X		1	セメントの種類 ※普通ボルトランドセメント又は混合セメントのA種	1	・行う (※JIS K 5622 · ) ※行わない	
					・高炉セメントB種 恒 (捨コンクリート)			

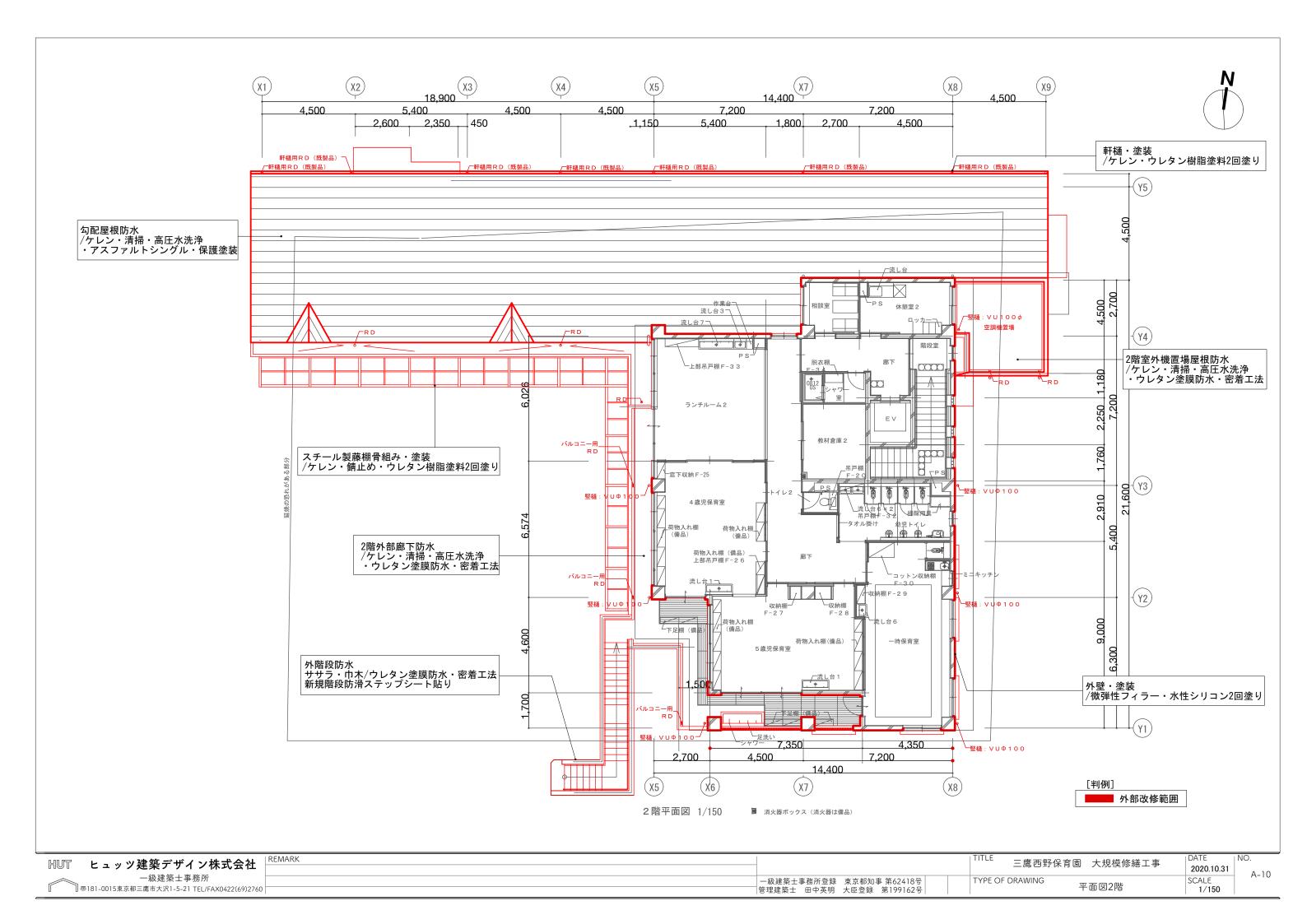
	EMARK		TITLE 三鷹西野保育園 大規模修繕工事	DATE 2020. 10. 31	NO.
一級建築士事務所 - 級建築士事務所		一級建築士事務所登録 東京都知事 第62418号 管理建築十 田中英明 大臣登録 第199162号	TYPE OF DRAWING 建築改修工事特記仕様書(その3)	SCALE	A-06

重	部位	数量	品名	仕様	メーカー	備考	
	外壁塗装	一式	アレス弾性ホルダー防水型	弾性ホールド工法	関西ペイント	足場取付	
			+アレスアクアシリコンAc IIx 2	微弾性フィラー・水性シリコン2回塗			
	軒天塗装		(同等品) アレス水性ワイドグリップx 2	浸透型塗料 2 回塗	関西ペイント		
	軒大坐装		アレス水性ソイトクリッフ×2  (同等品)	皮迈尘坐科之凹坐			
	鉄部塗装	一式	スーパーザウルス	一般鉄部塗替工法	関西ペイント		
『塗装工事			+セラMレタン×2	ウレタン樹脂塗料2回塗			
	4// ±0.50 NF		(同等品)	1.20.6.2044 34	88 77		
	雑部塗装	一式	セラM レタンx 2 (同等品)	上塗り塗替工法 ウレタン樹脂塗料2回塗	関西ペイント		
			(1-1) 4 HI	フレンス 岡畑王州 こロ王			
	木製フェンス塗装	一式	オイルステイン×2	オイルステイン塗料2回塗	関西ペイント		
			(同等品)				
	(1) 2 8 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1	18					
	(1)2階屋根側溝	一式	DSカラー・ゼロ   (同等品)	ウレタン塗膜防水・密着工法	ダイフレックス	特定化学物質無配合2成分ウレタン塗膜防水材	
	(2)庇 (3)北側出窓天端		(旧寺前)				
	(4)2階室外機置場屋根	一式	DSカラー・ゼロ	ウレタン塗膜防水・密着工法	ダイフレックス	特定化学物質無配合2成分ウレタン塗膜防水材	
			(同等品)			脱気筒新設(1箇所)	
						改修専用排水ドレン新設 (2箇所)	
k工事	(5) 2 階外部廊下	一式	DSカラー・ゼロ	ウレタン塗膜防水・密着工法	ダイフレックス	特定化学物質無配合2成分ウレタン塗膜防水材	
₩.Y.Ŧ			(同等品)			改修専用排水ドレン新設 (3箇所)	
	(6)外階段	_ <del>_</del>	DSカラー・ゼロ (同等品)	ウレタン塗膜防水・密着工法	ダイフレックス	*木製デッキ・解体復旧 特定化学物質無配合2成分ウレタン塗膜防水材	
	(0)//17642		田島R・ビュージスタステップ(同等品)			特定15字物員無配合と成分リレダン塗膜の水例   *既存シート撤去の上、新規ステップシート貼り	
	(7)勾配屋根	一式	田島R・SPシングルカラー	アスファルトシングル保護塗装	田島	* 既存勾配屋根塗替	
			(同等品)				
	사용冷壮表 다 바 - ヴァ # 1 7 18		1° 11 do 1. do 2.ND	All 1= 144 + 17 + 44 >			
	外壁塗装面目地・庇天端入隅・ 屋根取合い・出窓天端入隅・	- 二式	ポリウレタンNB (同等品)	既存撤去打ち替え			
	サッシ・建具廻り		(旧寺田)				
	サッシ水切り	一式	変成シリコンNB	既存撤去打ち替え			
- リング工事	ガラスブロック廻り		(同等品)				
	0						
	ベンドキャップ廻り	一式	ポリウレタンNB	既存撤去打ち替え			
	換気フード廻り		(同等品)				
■特記項目;『工事	保証書について』 * 工事保証は、下記	己の通りとす	る。				
(項目)	(部位)		(適用期間) (対象)	(備考)			
1. アスファルト防水工			10年 漏水	* 今回除外			
ウレタン塗膜防水 2. シーリング工事	[廊下屋根・庇・:		5年 漏水 5年 漏水・破	析			
2. グーリングエ <del>事</del> 3. 塗装工事	[打ら極さ日心・ [外壁塗装]	, , ノ <u>バ</u> ツ リ		∜I しい変褪色			
	[軒裏・上裏]			しい変褪色			
4. 鉄部塗装工事	[鉄扉・竪樋・他	鉄部塗装]		しい変褪色			
5. 長尺シート(排水溝	ウレタン防水共) [バルコニー・廊	下床・共用外	部階段] 5年 剥離・剥	れ・著しい変褪色			
	なごぜノンサナムユ  REMARK					TITLE	DATE   NO.
	&デザイン株式会社 │ <sup>REMARK</sup>				I .	三鷹西野保育園 大規模修繕工事	IUMIE INU.

	REMARK	TIT	TLE 三鷹西野保育園 大規模修繕工事		NO.
				2020.10.31	۸ ۵۶
一級建築士事務所		一級建築士事務所登録 東京都知事 第62418号 TY	PE OF DRAWING A 立 4 上 丰	SCALE	A-07
』 ѿ181-0015東京都三鷹市大沢1-5-21 TEL/FAX0422(69)2760		管理建築士 田中英明 大臣登録 第199162号	外部往上表		

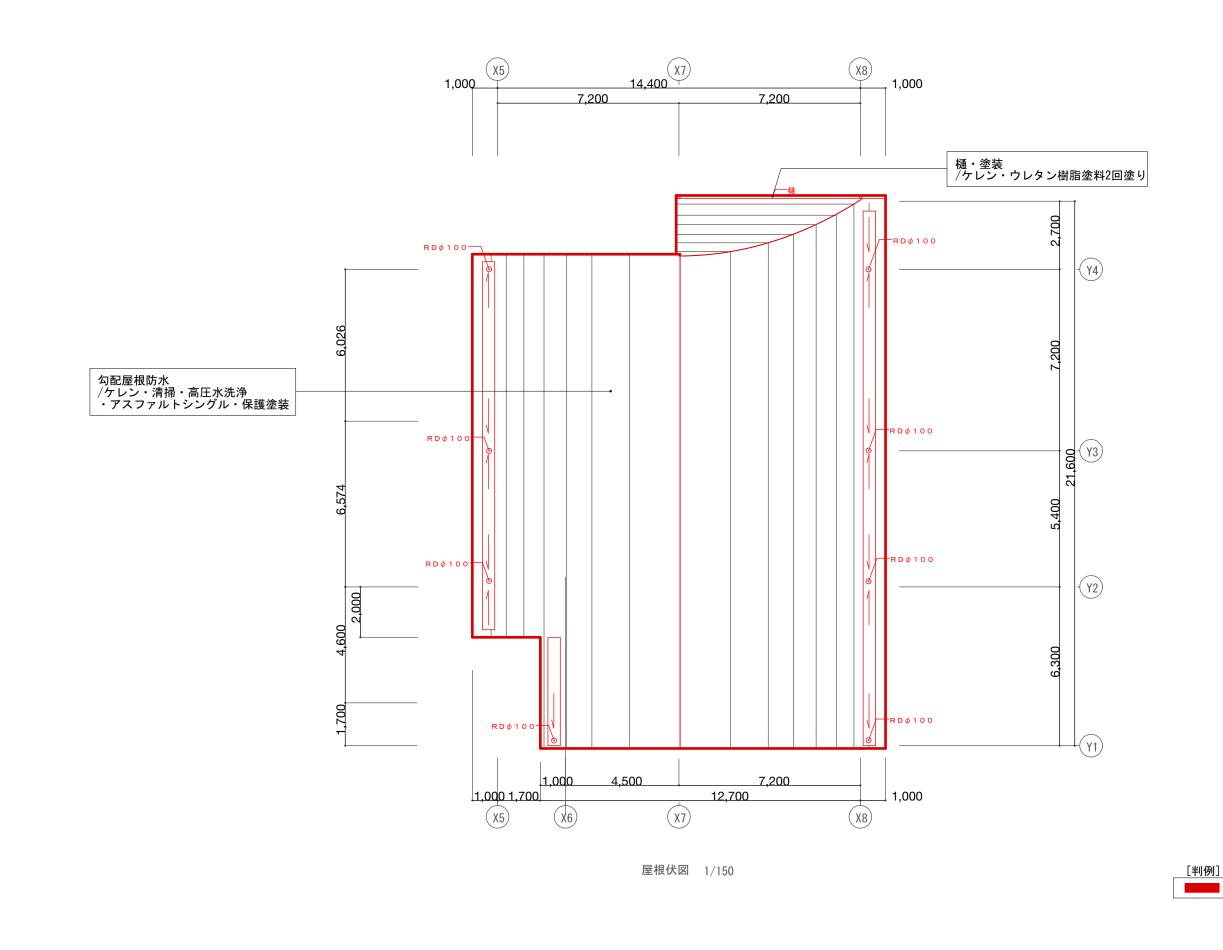


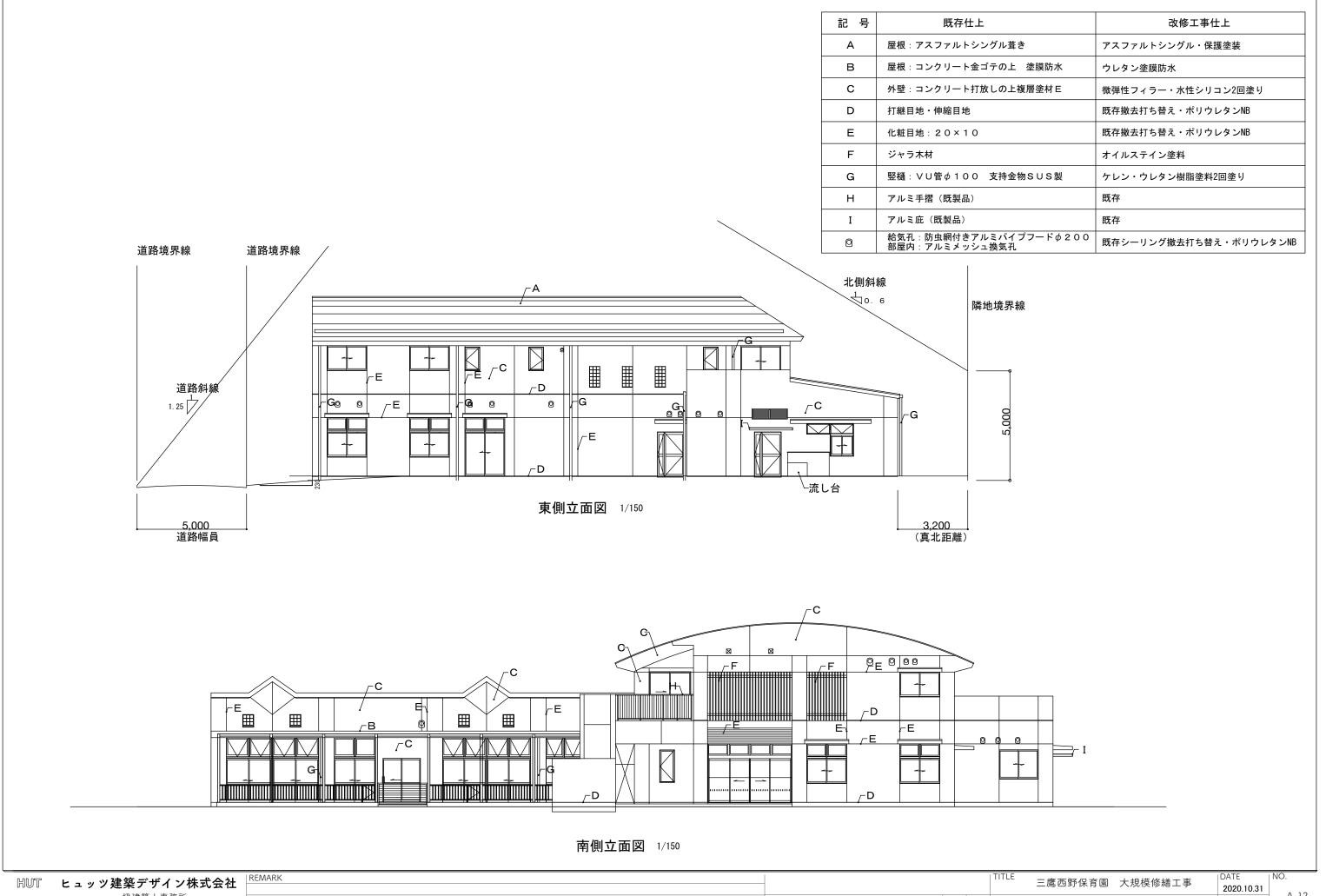






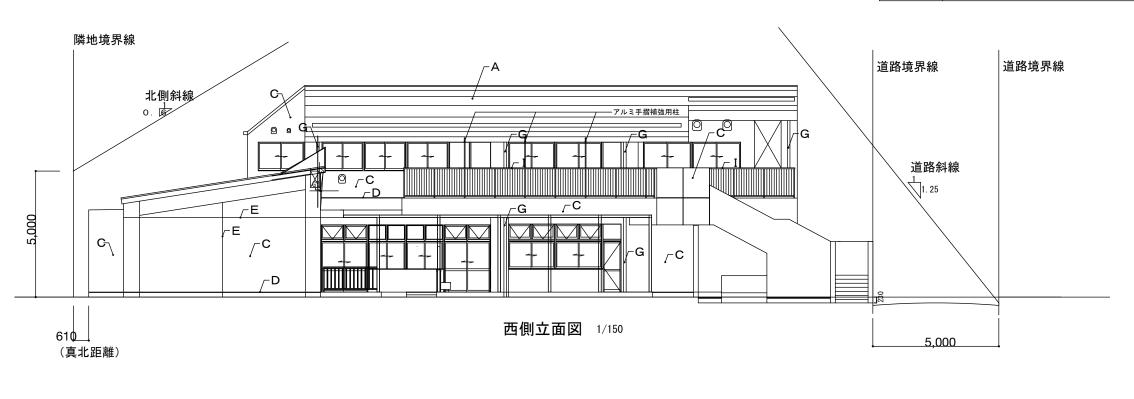
■ 外部改修範囲

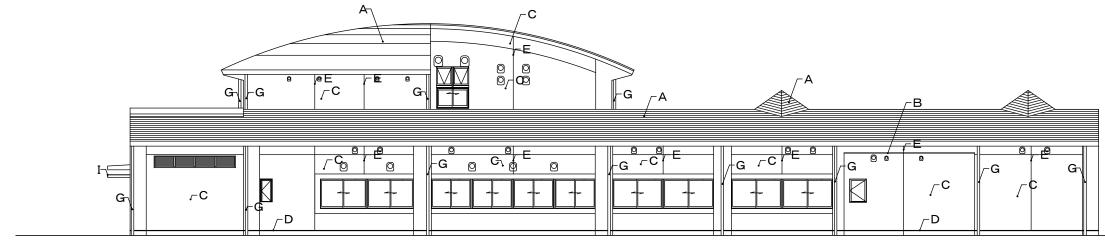




| TYPE OF DRAWING 立面図(1) では 1/150 | TYPE OF DRAWING では 1/150 | TYPE OF DR

記号	既存仕上	改修工事仕上	
А	屋根:アスファルトシングル葺き	アスファルトシングル・保護塗装	
В	屋根:コンクリート金ゴテの上 塗膜防水	ウレタン塗膜防水	
С	外壁:コンクリート打放しの上複層塗材E	微弾性フィラー・水性シリコン2回塗り	
D	打継目地・伸縮目地	既存撤去打ち替え・ポリウレタンNB	
E	化粧目地:20×10	既存撤去打ち替え・ポリウレタンNB	
F	ジャラ木材	オイルステイン塗料	
G	竪樋:VU管φ100 支持金物SUS製	ケレン・ウレタン樹脂塗料2回塗り	
Н	アルミ手摺(既製品)	既存	
I	アルミ庇(既製品)	既存	
0	給気孔:防虫網付きアルミパイプフード φ 2 0 0 部屋内:アルミメッシュ換気孔	既存シーリング撤去打ち替え・ポリウレタンNB	





北側立面図 1/150